

令和2年7月吉日

しんよこはま地域活動ホーム

所長：本田 和徳

お知らせ：台風等による鶴見川の洪水に備えた確認事項

梅雨明けが待ち遠しい折、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。また、日頃より、当所事業にご理解・ご協力を頂き、誠に感謝申し上げます。

さて、今回は、台風等による鶴見川の洪水に備えて、皆様と共有させて頂きたいことがございます。

ここ数年、台風等による洪水被害が頻発しております。特に、令和元年東日本台風（アジア名：ハギビス、10月発生）での鶴見川の危険な状況は記憶に新しいことと思います。あのような状況が、これからも起こり得ると考えています。

横浜市からは「避難準備・高齢者等避難開始」発令時、直ちに避難を行うよう指示されています。発令時、当所の動きとしては（避難計画上）2階への避難となります。しかし、本当に洪水が発生した場合、当所1階は濁流に（3～5mの浸水）に飲み込まれることが想定されています。出来るなら、2階への避難は最終手段として、ご家族とともに、より安全な場所への避難が望まれます。

そのため「避難準備・高齢者等避難開始」発令時には、当所に人がいない状況を目指したいと考えています。気象庁等の事前情報、鶴見川の水位等を考察し、場合によっては「避難準備・高齢者等避難開始」発令前に事業休止の判断をさせて頂くこともあろうかと思えます。

ご利用者、ご家族の皆様にはご迷惑をおかけする場合もあるかと思いますが、人命に関わることゆえ、ご理解いただけますようよろしくお願い申し上げます。

*おしまいに

今年7月初旬に起きた九州豪雨では、熊本県球磨川が、本格的な降り始めから5時間近くで氾濫危険水位を超えたとされています。立地的条件は各地で異なるとはいえ、如何に急激な変化があるかが伺えます。皆様におかれましても、地域のハザードマップを確認し、ご自宅の状況、どこが浸水しどこが安全なのか、今一度把握頂けますようお願いいたします。

*別紙にて、5段階の警戒レベルと、ハザードマップ上の当所状況、避難計画等についても共有させて頂きます。

お問い合わせ 045-531-4400

担当：高橋 雅光

* 5段階の警戒レベル

警報や注意報、避難指示・避難勧告など大雨の際には多くの防災情報が発表されます。しかし、複雑でわかりにくいいため、必ずしも住民の避難行動に結びついていないという実態が2018年（平成30年）の西日本豪雨（死者数200名強）で浮き彫りになりました。このため国は2019年から大雨の際に発表される防災情報を5段階のレベルに分けました。1から5まで増していく警戒レベル、住民の取るべき行動、横浜市が発令する避難の情報、気象庁等からの「雨の情報」「川の情報」から成ります。

警戒レベル	住民がとるべき行動	避難の情報	雨の情報	川の情報
5	命を守って！	災害発生	大雨特別警報	氾濫発生情報
4	危険場所から避難	避難指示(緊急)・避難勧告	土砂災害警戒情報	氾濫危険情報
3	高齢者など避難	避難準備	大雨・洪水警報	氾濫警戒情報
2	避難方法確認	—	大雨・洪水注意報	氾濫注意情報
1	最新情報に注意	—	早期注意情報	—

* 鶴見川水系氾濫時の洪水ハザードマップ（想定最大規模）について

横浜市発信の洪水ハザードマップ（想定最大規模）によれば、当所の浸水高は3mに及ぶ想定です。また、数十メートル先では浸水高5mとなります（港北区役所からは、5mの想定で考えるようにとの指示がありました）。この想定は、2日間で約792mmの降雨を前提として考えられたものです。

鶴見川の状況に応じて、洪水に伴う「避難準備・高齢者等避難開始」情報が横浜市より発令された場合、直ちに避難することが強く求められています。

（令和元年東日本台風では、箱根町の24時間降雨量が942.5mmと記録されています。想定最大規模の洪水が現実として有り得る可能性を示しています。）

◇横浜市洪水ハザードマップ URL

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyukyu-bohan/bousai-saigai/map/flood-hmap.html>

* 河川氾濫時の当所の状況と避難計画

当所の土地は、手前の道より1m強高くなっています。加えて、1階から2階床までの高さが約4mあります。なので、2階床面まで5m程になります。想定最大規模の洪水であれば2階は浸水しないこととなります。とはいえ、1階は濁流に飲み込まれている状況となります。

ご存知の通り、当所をご利用いただく方の多くは避難が難しく、高台に避難をしようとする内に手遅れになる可能性があります。それゆえ、当所2階への避難計画としています。

しかし、出来れば、ご家族による、より安全な場所への避難が望まれ、そのためにも「避難準備・高齢者等避難開始」発令の恐れが（気象庁等からの情報や鶴見川の状況で）予測されれば、場合によっては（発令前の）事業休止の判断も有り得ると考えるに至りました。

以上